

正 誤 表

「コンパス生化学（改訂第3版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
71	図4・5	略	図差し替え 図 4・5 甲状腺ホルモンの生成 ①毛細血管からヨウ素イオン(I⁻)がろ胞細胞に能動的に取り込まれ(Na⁺との共輸送による), さらにろ胞腔内に受動的に移動する(○と●はI⁻の輸送体). ②ペルオキシダーゼがタンパク質(チログロビン)のチロシン残基をヨウ素化し, モノヨードチロシン(MIT)とジヨードチロシン(DIT)が生成する(チロシン残基の側鎖部分のみ示す). ③ペルオキシダーゼがさらに作用し, チログロビン分子内のMITとDITが縮合するとT₃前駆体となり, 2分子のDITが縮合するとT₄前駆体となる(T₄前駆体でのみヨウ素化される部分を括弧で示す). ④修飾を受けたチログロビンはエンドサイトーシスでろ胞細胞に取り込まれ, リソソーム内のプロテアーゼにより加水分解される. ⑤生じたT₃やT₄は血中に放出される. 血中では, T₃, T₄の99%以上がチロキシン結合グロブリンに結合している.
83	下から4行目	副腎皮質網状帯	副腎皮質球状帯